

山陰歴史資料ネットワーク

事務局所在地 〒690-8504 島根県松江市西川津町1060 島根大学法文学部
2000年11月23日設立 / Facebookページ @sanin.siryounet

☆ 設立の経緯

2000年10月6日に発生した鳥取県西部地震を機に、神戸の歴史資料ネットワークの呼びかけを受けて同年11月23日に設立されました。設立時の呼称は鳥取県西部地震（山陰中部地震）被災史料救出ネットワークでしたが、当初から略称を山陰史料ネットとしており、その後団体名を略称に合わせて山陰歴史資料ネットワークに改称しました。



☆ 活動の特徴

鳥取県西部地震（2000年10月）の発生後、震源地に近い鳥取県西部の日野町、溝口町、岸本町、西伯町、会見町、米子市、境港市、島根県東部の伯太町などで被災史料の保全活動を行いました。被害の大きかった地域における巡回調査や、日野町歴史研修会などの地元団体関係者の方の情報をもとに、歴史資料の安否確認を行い、必要と判断された場合には資料を搬出し、一時保管と整理に当たりました。搬出を伴う保全活動は2001年8月まで行い、その後は預かった資料の整理に従事しました。

ひの歴史フォーラム（2001年）

2001年9月16日に日野町公民館で「ひの歴史フォーラム」を開催し、鳥取県西部地震発生以来の保全活動について地元住民の方々に報告しました。



鳥取県中部地震（2016年）

2016年10月21日に発生した鳥取県三朝町を震源とする鳥取県中部地震にあたっては、関係者による協議の上、鳥取地域史研究会と連携することとし、保全活動を行う場合には鳥取県立博物館を拠点とすることになりました。

2018年7月5日からの豪雨（西日本豪雨）によって江の川が氾濫したために、島根県江津市、川本町、美郷町を巡回調査し被害状況等を確認しました。この調査により美郷町港の旧家所蔵の古文書に浸水被害が確認されたため、美郷町と連携しつつ保全し同町役場で乾燥させるなどの応急保存措置を行いました。



広島豪雨（2018年）

☆ 連携団体

2021年3月に島根県教育委員会は『島根県文化財保存活用大綱』を策定しました。この大綱の「第4章 防災・防犯及び災害・犯罪被害等発生時の対応」には「島根県文化財救済ネットワーク」の構築が書き込まれることになり、山陰歴史資料ネットワークも構成団体として位置づけられています。事務局をつとめる島根県との間で日頃から情報共有を図るとともに、災害時には互いに連携しながら保全活動を進めることになっています。